

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	14	学校名	桜井高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	交通安全啓発グッズの製作と配布を通しての地域との交流
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	普通科1年生必修科目「家庭基礎」(8クラス315人)と普通科2年生選択科目「ライフデザイン」(41人)、普通科3年生選択科目「子どもの発達と保育」(19人)の計375人における実習として実施。交通安全を呼びかけるグッズを製作し、秋の交通安全週間に地域で配布し、地域との交流や社会貢献の大切さを学ぶ。
連携・協働相手	桜井警察署、桜井駅前交番
地域と共有している目標・課題等	交通安全の意識高揚、地域の交通マナー、生徒の規範意識の向上を目指す。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
1学期の家庭科の授業で配布するグッズを製作し、家庭クラブ委員がラッピング時に交通安全を呼びかけるシールを貼付し、配布の準備を行った。桜井警察署、桜井駅前交番の方々との連携・協働のもと、近鉄・JR桜井駅の北と南のロータリーにおいて、家庭クラブ委員が通行する方々に交通マナーの向上と交通安全への注意喚起を呼びかけながら製作したグッズを配布した。	

2. 事業の成果と課題

<p>秋の交通安全週間に桜井警察の方々と連携し、ほとんどの生徒が利用している近鉄・JR桜井駅において活動を行うことによって、配布する生徒はもちろんのこと、通学途中の生徒たちも自分たちが製作したグッズが配布されていることを知り、地域との交流や社会貢献の大切さを学ぶことができた。この事業とは別に、冬には家庭クラブ員が製作した花の鉢に花を添えて、近鉄・JR桜井の各駅と桜井駅前交番に日頃の感謝の気持ちを伝えるために訪問を行った。このような活動を継続して行っていく、今後も地域と共にあるよりよい学校づくりに取り組んでいきたい。</p>
--

